

有志舎の新刊です。2014年12月下旬発売

# 開国期徳川幕府の政治と外交

後藤敦史（ごとう あつし） 著

A5判・ハードカバー・340ページ 本体価格 6,200円

「鎖国から開国へ」という予定調和な歴史叙述を克服！

明治維新にいたる歴史を考察する上で重要な開国の〈経緯〉を、従来は見落とされていた視点からたどり、新たな幕末維新史を描き出す。。

(目次)

序章	開国への軟着陸
第I部	ペリー来航前後の幕府外交と海防掛
第一章	海防掛の制度に関する基礎的考察
第二章	弘化・嘉永期における海防掛の外交構想
第三章	嘉永期における風説禁止令と阿部正弘政権
第四章	嘉永六年の幕府外交と「大号令」
第II部	転換期としての安政二年
第五章	通商政策への転換とその前提
第六章	海防掛目付方の開国論の形成過程
第七章	安政二年における幕閣改造の政治・外交史的意義
第III部	開国政策の展開とその挫折
第八章	開国の方法
第九章	安政期における朝幕関係と海防掛
終章	幕末・維新史の中の開国期

<著者紹介> 1982年生まれ。大阪観光大学専任講師

～版元から～

徳川幕府の幕臣たちにとって鎖国から開国への転換は自明の「正解」だったのでしょうか。本書はペリー来航という重大事件に遭遇した幕臣たちの苦悩に寄り添いながら、暗中模索のなかで幕末外交のジレンマがどのように乗り越えられ、開国政策が選択されていったのかをたどっていきます。これまでの、あたかも開国にむけて順調一直線に進行していったかのような「予定調和」な開国史を書き改め、試行錯誤を繰り返しながらもそこから国際政治の在り方を学び、新しい日本の「夜明け」を真に進めた人びとの姿を描き出します。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10、宝栄ビル403 (有)有志舎 電話:03-3511-6085

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
		<b>開国期徳川幕府の政治と外交</b> 後藤敦史 著 A5判・ハードカバー、340ページ 本体価格6,200円 冊 新刊 ISBN978-4-903426-91-4 C3021	日本史 (近世・近代)
ご担当	様	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。	

ご注文は (株)JRC (人文・社会科学書流通センター) へ 返品条件付注文です。

FAX : 03-3294-2177

電話 : 03-5283-2230